

研究協力をお願い

練馬光が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

薬物相互作用によるセフトリアキソンとランソプラゾールの副作用：後ろ向き観察研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年4月1日～2023年9月30日の間に総合診療科入院された症例

2. 研究目的・方法

セフトリアキソンは肺炎や尿路感染症を中心に様々な設定で広く使用される第3世代セファロスポリン系抗菌薬です。また、ランソプラゾール口腔内崩壊錠の存在もあり、日常診療において頻用される制酸薬です。そのため、セフトリアキソンとランソプラゾールを同時に使っているという状況、病院の内科病棟に入院している患者ではよくみられる設定になります。

しかし、近年に、この2つの薬の併用によって心臓の不整脈やそれによる致命的合併症をおこす可能性が示唆されてきました。この不整脈をおこすリスクはほかの第3世代セファロスポリン系でも制酸薬でもおきず、セフトリアキソンとランソプラゾールを同時に使っているという状況のみで生じる可能性が示唆されています。この検証はされたばかりのものであり、本施設でも併用による合併症が起きているかどうかの検証をおこなうために、総合診療科入院された患者さんを対象に後ろ向きにデータを検証する研究になります。

研究期間

練馬光が丘病院の倫理委員会にて審査後、委員会から発行される結果通知書の承認日より、実施機関の長の研究実施許可を得てから ～ 2024年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、基礎疾患、入院疾患、入院時の心電図所見、入院中の臨床情報、心室性不整脈の危険因子（冠状動脈疾患、以前の心筋梗塞、駆出率が維持または低下した心不全）、心筋症、心室性不整脈または心停止の病歴、慢性腎臓病、電解質(カリウム、カルシウム、マグネシウム)、心室性不整脈のリスクを高める可能性がある薬剤の内服歴、制酸薬の使用の有無(ボノプラザンや H2Blocker 含む)、使用薬剤

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：練馬光が丘病院 総合救急診療科 総合診療部門

氏名：原田 拓

住所：東京都練馬光が丘 2-5-1

電話番号：03-3979-3611

研究責任者：練馬光が丘病院 総合救急診療科 総合診療部門 原田 拓